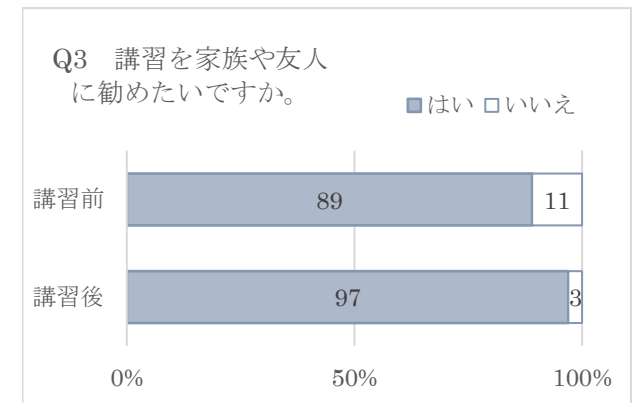
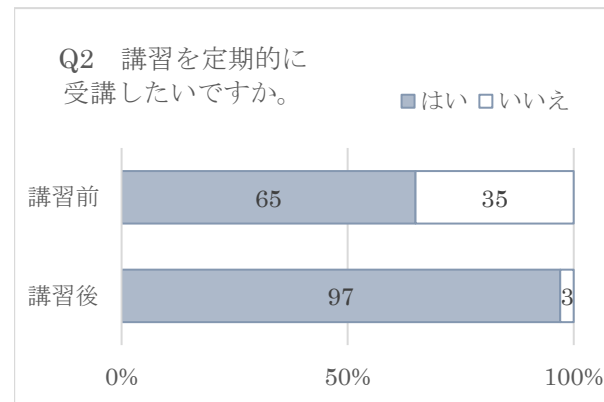
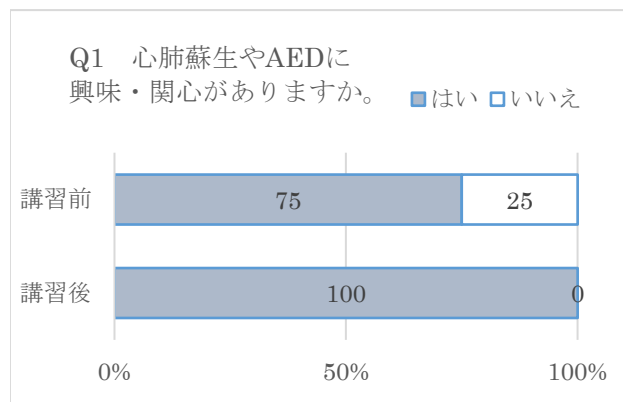


令和4年度 第1回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。定期試験最終日の疲労が蓄積している頭と身体にも関わらず、参加した生徒は、集中し、真剣に取り組んでいました。自分を守り、大切な人の命を救える社会を目指していきましょう。

【意識の変化】



例年、受講前アンケート Q1～3 に「はい」と答える生徒はいずれも 60%程度です。今回参加した生徒たちは、受講前から「心肺蘇生や AED に興味関心」は興味があり、家族や友人に講習受講をすすめたものの、定期的に通講する必要性をあまり感じていませんでした。受講前アンケートの自由記述欄は、ほとんどの生徒が空欄でした。

ところが、講習後は「心肺蘇生や AED」に関して興味・関心が高まり、定期的に通講して、胸骨圧迫の方法や AED の使い方を繰り返して復習することの重要性を感じてくれました。事後アンケートでは、たくさんの感想を書き込んでくれました。



写真は PUSH 講習会の様子です。

【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

- ① 心臓突然死はもともと心臓に疾患がある人にだけ起こる。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約1%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合は胸骨圧迫をしない。
- ④ AEDは医療関係者以外は講習を受けていないと使用してはいけない。
- ⑤ AEDは心電図を解析した後、全ての人に電気ショックをしてくれる。
- ⑥ AEDによる電気ショックの後、意識が回復したら誤作動を防ぐためにパッドを外す。

《回答と正答率》

- | | | | | |
|---|-----|-----|---------|----------|
| ① | いいえ | 正答率 | 受講前 94% | 受講後 100% |
| ② | いいえ | 正答率 | 受講前 60% | 受講後 100% |
| ③ | いいえ | 正答率 | 受講前 45% | 受講後 95% |
| ④ | いいえ | 正答率 | 受講前 94% | 受講後 100% |
| ⑤ | いいえ | 正答率 | 受講前 87% | 受講後 95% |
| ⑥ | いいえ | 正答率 | 受講前 30% | 受講後 100% |

【生徒の感想】(一部抜粋)

- ・ 行動することが一番、大切。周りの人に助けを求めて、みんなで協力し合うと救命率が上がる。今日のことを忘れないようにしたい。
- ・ 講習で学んだことを家族や友人に伝え、誰でも人の命を救える、助け合える社会になったらよいと思った。
- ・ 電気ショックで意識が戻った後も、心電図の解析を続けていることを初めて知った。AEDを街中で見かけた時に今日、学んだことを思い出したい。定期的に救命講習を受けることの大切さを感じた。いざという時に、自分自身がしっかり行動できるようになりたい。
- ・ 人の命を救う時に大切なことは、怖がらないこと、ためらわないこと。正しい知識を持っていても、それを実行する勇気がなければ意味がない。
- ・ AEDや胸骨圧迫で人の命を救うってかっこいいと思った。

《他にもたくさんの素晴らしい感想をもらいました。》